

- ・進んで学ぶ子
- ・思いやりのある子
- ・がんばる子



平成28年度 冬休み明け集会！



関心・感動・感謝の「3かん王」の学校を目指して
「チーム要田 児童+教職員+保護者+地域」で頑張りますので、ご支援・ご協力をお願いいたします。



たかはしべん スクールコンサート (H28.12.17.SAT)

明けまして、おめでとうございます。子どもたちが、こうして元気に集うことができ、うれしく思います。

冬休みはどうでしたか？「ありがとうございました。」の感謝の言葉を心を込めて言うことができましたか？ 後期後半も多くの人に見守られながら過ごすことになります。感謝の気持ちを素直に表現できる自分を大切にしてください。

さて、2017年の1月2日・3日に行われた「箱根駅伝」で優勝した青山学院大学の強さの秘密は何なのでしょう？
【1/4のポータルサイトより】

箱根駅伝は、青山学院大学が11時間4分10秒、3年連続完全優勝（往路・復路の両方で優勝）を果たしました。また、出雲全日本選抜、全日本と合わせ、史上4校目となる大学駅伝3冠にも輝きました。青学の大監督は、戦力低下が懸念されていましたが、無理せず「能力を半歩向上させる」指導を貫きました。寮での朝食に欠かさず顔を出して選手の状態を確認し、選手もミーティングを重ねて結束を強化。他の追従を許さないチーム力を培いました。互いの理解の深さがピンチでも生かされました。

「チーム要田」のチーム力アップにも生かしたいです。

新しい年の初めにあたり、今よりさらにいい学級・学年・学校だったとだれもが言えるものにするために、**もう一步の前進**をして一年のまとめをしっかりとしてほしいと思います。そのために、日々の生活の中で心がけてほしいことをお話しします。

それは、「**他の人のために何かできないか**」考えてほしいのです。自分が困ったり、苦しんでいるとき、助けられ、励まされ、感謝した体験は誰にでもあると思います。集団の中の一人として生活する時、自分のことだけ考えていたのでは、楽しく、充実した学校生活は送れないことも十分わかっているはずです。まず、自分から、他の人のために何かをすることによって、自分自身が助けられ、自分がここにいることの意味が実感できるのです。学校行事、児童会活動、学級活動を中心に、一人ひとりが、「**他の人のために何かができる時**」、より楽しい学級や学年、学校になるのです。何かをすることが他の人のためばかりでなく、自分自身のためであることを心にきざんでほしいものです。充実した後期後半にしましょう。

後期後半の行事のメインは「卒業式」でしょう。6年生にとっても1～5年生にとってもこの1年の中で最高の思い出になるような式にするためにも、「他の人のために何かできないか」を考えて生活してほしいのです。



7区で給水員に笑顔を見せる田村和希選手



ゴールする主将の安藤悠哉選手

6年生にとっては、中学校入学に向けて忙しい時期かもしれません。忙しい時期だからこそ、心にゆとりをもち、「**他の人のために**」と考えることは大切だと思うのです。そんな児童が通う要田小学校であってほしいです。**誰かの笑顔のために頑張る**、すてきなことだと思いますか。そんな心をみんなでもてたらすてきな学校になるのでしょうか。

今日から始まる52日間の後期後半、「**誰かの笑顔のために**」、「**他の人のために何かできないか**」の心で生活し、楽しく舞うような活力のある年になることを願っています。